

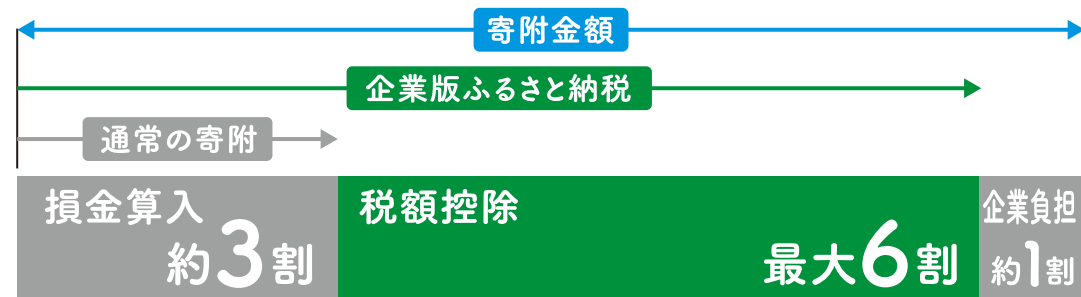
企業版ふるさと納税「寄附金活用報告」

企業版ふるさと納税でも淡路市を応援いただいています！

企業版ふるさと納税とは…

企業版ふるさと納税（正式名「地方創生応援税制」）とは、国が認定した地方再生計画（地方公共団体の地方創生の取り組み）に対し、企業が寄附を行った場合に、法人関係税から税額控除する仕組みです。

損金算入による軽減効果（寄附額の約3割）と合わせて、税額控除（寄附額の最大6割）により、最大で寄附額の約9割が軽減され、実質的な企業の負担が約1割まで圧縮されます。



〔令和6年度の寄附実績〕

寄附件数／12件（うち2件非公開）

寄附金額／129,200,000円

寄附企業／株式会社ノエビア

株式会社正龍コーポレーション

株式会社ベック

コーナン商事株式会社

タキイ種苗株式会社

株式会社大塚商会

株式会社甲南アセット

タレントスクエア株式会社

東洋合成工業株式会社

八洲物産株式会社

●淡路市デジタルマップ ～あデジ～事業(220万円)

地域住民及び観光客などが抱える、交通課題や市内周遊促進、地域活性化などの課題に対して、デジタル技術を活用した公共交通等の見える化や市内観光施設等の一元化した情報発信により、包括的な課題解決に取り組みました。



●映像を通じたシティプロモーション事業 (1億6,800万円)

映像を通じたシティプロモーション事業として『種まく旅人』第5作「種まく旅人 醗のささやき」を制作。

世界に誇る日本酒、酒米の王様「山田錦」、酒蔵などとともに淡路島の特産品であるたまねぎやレタスなどの第一次産業の大切さを映像により、国内外に発信し、地域産業を守り育てる意識の向上を目的として取り組みました。



今後も皆様からの温かいご支援とともに
魅力あるまちづくりに努めてまいります！

淡路市ふるさと納税推進課

〒656-2292 兵庫県淡路市生穂新島8番地
TEL.0799-64-2534(直通) FAX.0799-64-2531



淡路市 夢と未来への ふるさと納税寄附金活用報告



淡路市へのご寄附に、心より感謝申し上げます。
皆様からの貴重な寄附は、多分野において様々な事業で大切に活用しています。
淡路市は令和7年4月に発足から20年を迎え、これまで「いつかきっと帰りたい街づくり」の実現に向けて、邁進してまいりました。
引き続き、淡路市への応援をよろしくお願いいたします。



令和6年度
寄附件数:310,124件
寄付金額:4,232,148,400円



子育て

特色ある幼児教育「あそぼう事業」の推進(240万円)

市内保育所で、「きたえて遊ぼう」「えいごで遊ぼう」「リズムで遊ぼう」を実施しました。
「リズムで遊ぼう」では、理学療法士が講師を務め、リズム運動やジャンプを通じて友だちと楽しく体を動かし、バランス感覚や多様な動きを育みました。

保育所備品整備事業 (223万円)

古くなった保育用品(椅子、ベビーサークル)の買替や新しい楽器(電子ピアノなど)の購入を行いました。新しい椅子を使ってクラスで椅子取りゲームや新しい電子ピアノの音色と鉄琴の響きに合わせて、子どもたちの元気な歌声が保育室に響き渡りました。



観光

観光イベント補助金 (3,010万円)

第17回淡路市夏まつりを令和6年7月21日(日)に淡路島国営明石海峡公園で開催しました。来場者数は2万5605人で、特設ステージでは、さまざまなパフォーマンスが披露され、フィナーレでは、約3千発の花火が夏の夜空に大輪の花を咲かせました。



岩屋ポートターミナル整備事業 (3,350万円)

陸上・海上交通の結節点となる淡路島の玄関口の岩屋ポートターミナル周辺整備工事において、立体駐車場及び周辺道路の整備を行いました。



教 育

小中学校備品整備事業(1,694万円)

市内小中学校の子どもたちの机・椅子を更新し、学びの場の環境の充実が図られました。「20年後も輝く淡路市の教育を創る」ため、今後も更なる学びの場の環境整備の充実に取り組みます。



給食プロジェクト事業(500万円)

令和7年1月30日に淡路島3市合同献立として「淡路のめぐみまるごと給食」を実施しました。淡路市内産鶏肉をゆず塩あえに、わかめとちりめんを本来のおいしさを引き出すサラダに、淡路で採れた7種類の野菜や牛肉を七福汁として給食に出しました。淡路島産の食材をふんだんに使用した給食で、子どもたちは淡路島の豊富な食材に関心を持ちつつ、笑顔いっぱい淡路島のめぐみをまるごといただきました。



震災記念公園地震体験装置更新事業(3,149万円)

阪神・淡路大震災から30年が経過した令和7年1月17日。北淡震災記念公園の地震体験装置を“VR地震体験装置”としてリニューアルしました。これからも震災の記憶を風化させず、次世代に継承し、地震発生時に『命を守る』備えや行動を考える防災教育に活用します。



防 災

災害備蓄品購入事業(1,107万円)

南海トラフ巨大地震への備えとして、ポータブル電源と大型送風機を購入し、指定避難所である市内の小中学校等に配備し、避難所の環境改善を図りました。



防災カタログ配布事業(1億858万円)

阪神・淡路大震災から30年。近年、発生が予想される南海トラフ巨大地震やその他災害に備えるための行動を再確認し、さらなる防災意識の向上を図ることを目的として、「淡路市オリジナル防災カタログ」配布事業を市内の全世帯対象に展開しました。

108点
淡路市オリジナル防災カタログ



環 境

市内緑化資材(花苗・堆肥)配布事業(65万円)

主要道路沿いや公共的空間の「花植え活動」に対し、花苗及びリサイクル堆肥の支給を行いました。地元自治会等23団体・小中学校・保育園26校の計49団体に対し、支給を行い、市内の緑化活動に活用されました。また、支給したリサイクル堆肥は、市内で出された草木ごみを利用した堆肥で、CO2削減に寄与した堆肥を活用しています。道路沿線や公共的空間の環境美化対策が図られ、小中学校・保育所では生徒・園児が植付け活動を行うことにより、環境学習に繋がりました。



ま ち づ く り

海外派遣事業(321万円)

淡路市の姉妹都市であるアメリカ・オハイオ州セントメリス市へ青少年派遣団10名が訪問、中国・浙江省義烏市とは友好都市提携10周年を記念し、義烏市友好使節団が淡路市へ、淡路市が義烏市へ相互に訪問し、視察などを通じ現地の方や官民のさらなる交流を深めました。



ふ る さ と 納 税 運 営

ふるさと納税運営事業(20億7,605万円)

淡路市へご寄附をいただいた方々への御礼品やその送料、ワンストップ特例申請や寄附金受領証明書発行に係る費用など、ふるさと納税の運営業務を行いました。



そ の 他

その他の事業(3億2,341万円)

他にも、定住化促進奨励金、まちの魅力度アップ事業、防犯灯整備事業、マイクロバス更新事業、図書購入費など多岐にわたり、淡路市夢と未来へのふるさと寄附金を活用しました。



寄 附 件 数

年 度	件 数
平成20年度	455
平成21年度	370
平成22年度	780
平成23年度	880
平成24年度	1,852
平成25年度	5,377
平成26年度	26,629
平成27年度	26,558
平成28年度	25,819
平成29年度	15,037
平成30年度	10,335
令和元年度	23,373
令和2年度	39,767
令和3年度	62,892
令和4年度	203,912
令和5年度	310,378
令和6年度	310,124
累 計	1,064,538

寄 附 金 額

年 度	寄附金額
平成20年度	29,169,781
平成21年度	12,865,152
平成22年度	28,102,578
平成23年度	20,473,600
平成24年度	57,878,960
平成25年度	87,406,391
平成26年度	287,509,312
平成27年度	470,602,406
平成28年度	383,100,812
平成29年度	270,086,263
平成30年度	239,097,500
令和元年度	514,198,674
令和2年度	772,434,000
令和3年度	1,120,100,602
令和4年度	2,569,979,200
令和5年度	3,705,249,590
令和6年度	4,232,148,400
累 計	148,004,032,211

「感謝」

これまでの累計寄附件数が
100万件を突破しました！